

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1009	(H.24)No.	1009
-----------	------	-----------	------

事務事業名	地域防犯活動事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
企画財政部	危機管理室	田中 浩之	63-7271
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 20 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2	安全で安心な地域づくり
	施 策	3	防犯
	小 施 策	1	地域防犯活動の促進
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	024701
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 総務費	地域防犯活動事業	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 防犯対策費	地域防犯活動事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>名張警察署内に事務局がある名張地区防犯協会は、名張署管内(伊賀市青山地区を含む)での街頭犯罪抑止啓発活動、名張川納涼花火大会街頭啓発、年末年始特別警戒、八日えびす祭り街頭啓発のほか、青少年健全育成活動、広報啓発活動など、幅広い地域安全活動を実施しています。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>「名張地区防犯協会」への活動費及び運営事務費を支出することにより、犯罪防止に関する啓発を推進し、犯罪のない社会の実現を目指します。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	・名張地区防犯協会負担金 2,216千円	・名張地区防犯協会負担金 2,216千円	補助金・交付金	その他 (負担金拠出)	
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
			名張地区防犯協会負担金	名張地区防犯協会負担金	名張地区防犯協会負担金
直接事業費	2,216千円	2,216千円	2,216千円	2,216千円	2,216千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
	一般財源	(0) 2,216	2,216	2,216	2,216
人工数	職員	0.12人	0.12人	0.12人	0.12人
	臨時職員等				
概算人件費	(0千円) 876千円	876千円	876千円	876千円	876千円
+ 総事業費	(0千円) 3,092千円	3,092千円	3,092千円	3,092千円	3,092千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	件	-	-	-	-	797
	実績		899	765	855	727	
成果指標	目標	%	-	-	-	-	53.0
	実績		56.9	52.9	49.3	52.6	
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価・各指標等)	今後の対応方針
平成23年度には、刑法犯認知件数が減ったものの、犯罪に対して不安感を持っている市民の割合は増加傾向にあります。自転車盗や自動車盗、空き巣や振り込め詐欺等は非常に身近な脅威となっており、市民の不安感は増えています。	引き続き名張警察署との連携を図り、広報啓発活動を展開し、犯罪の未然防止を目指します。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
全国的に犯罪の多様化、凶悪化が進み、高齢者を狙った犯罪も増加傾向にあります。	夜間等で団地内での路上駐車が自動車盗等の温床となっているのではないのかとの意見があります。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)はの場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	防犯研修会の実施など会員の意識・知識の向上を図るように要望します。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	多くの地域ビジョンに防犯に対する記述があります。
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映済み	名張地区防犯協会員は全地域から選出し、地域と名張警察署の連携を図っています。
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項